



News Letter

No.46

一般社団法人日本老年歯科医学会 会報

2021年12月31日発行

【本号のトピックス】

ワークショップ報告／33回大会まであと5カ月！／ステートメント公表について
国際渉外だより／委員会だより／支部だより／新規 専門医認定者の声
オンラインLive研修会・支部長会・歯科衛生士セミナー報告／学会だより

「口腔機能低下症とオーラルフレイルに関するワークショップ」 開催報告

学術委員会
幹事 高橋利士

口腔機能低下症に関する現時点での課題と論点を抽出・整理し、学会として取り組むべき方針を決定することを目的として、2021年12月26日（日）に学術委員会が主催し、「口腔機能低下症とオーラルフレイルに関するワークショップ」をオンラインにて開催いたしました。当日は、口腔機能に関する研究、診療に従事されている35名の本学会員の先生方に加え、東京大学の飯島勝矢先生、田中友規先生、日本歯科医師会の佐藤 保先生、厚生労働省の小嶺祐子先生、奥田章子先生をお迎えし、さまざまな立場からの意見もいただきました。はじめに、「口腔機能低下症の有病率・カットオフ値」「検査法の種類と選択・代替法」についてグループディスカッションを行い、その結果を踏まえて「今後の展望・戦略と縦断研究・介入研究」について全体ディスカッションを行いました。口腔機能低下症の今後について活発な意見交換が行われ、たいへん有意義なワークショップとなりました。

本ワークショップで得られた成果は、2022年6月10日より新潟で開催される日本老年歯科医学会第33回学術大会での学術委員会主催シンポジウム「口腔機能低下症

に関するワークショップの成果報告」にて発表を予定しております。



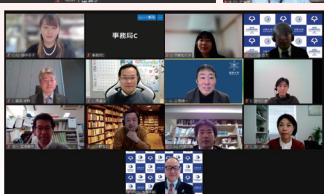
ワークショップ参加者の集合写真



グループ A



グループ B



グループ C

グループディスカッションの様子

第33回学術大会まであと5カ月！ #JSG22

このレターが皆様に届く頃は、2022 年が明けて第33 回学術大会まであと 5 カ月になっていることと思います。皆様がお元気で、そして新型コロナウイルス感染症の状況が悪化しないことを祈りつつ、原稿を書いております。オミクロン株の動向は予断を許しませんので、ハイブリッド開催も視野に入れ、仮にそうなった場合も、会場で参加される方にもオンラインで参加される方にも本大会を楽しんでいただけるよう、堀準備委員長と頭を悩ませているところです。

学会誌でご案内しておりますように、本大会では 2 つの特別講演、13 のシンポジウム、7 つのランチョンセミナー、交流の場など、山盛りの企画を準備しております。研究発表、認定医・専門医関係の発表と併せて、本当に充実した 3 日間になりそうです。会場は、当初「リ्यूとぴあ 新潟市民芸術文化会館」にすべて収めるプランでしたが、余裕をもたせるために隣接する「新潟県民会館」にも拡大いたしました。

大会長 小野高裕（新潟大学大学院包括歯科補綴学分野）

皆様と共に、老年歯科の最新像を噛んで、味わって、語り合えますように！



会場の新潟市民芸術文化会館（リ्यूとぴあ）



大会 HP



大会 Facebook

学会ステートメントの公表

下記ステートメント 2 編が「老年歯科医学」36 巻 3 号に掲載されました。

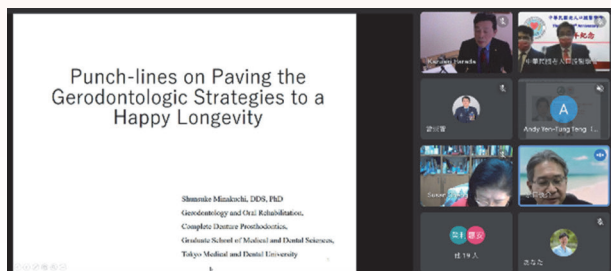
- ・ 歯科における訪問診療を示す学術用語に関する本会としての考え方
 - ・ 論文中的高齢者に関する英文表記について
- 特に論文および演題を発表する際は留意してください。2 月中旬頃に J-STAGE 上でも公表されます。



国際渉外だより

The 10th Anniversary of TAGD 報告

台湾老年歯科医学会（TAGD）の設立 10 周年を記念し、標記の催しが 11 月 21 日にオンラインにて開催され、本学会からは、水口俊介理事長が「Punch-



水口先生の講演の様子

lines on Paving the Gerodontologic Strategies to a Happy Longevity」のタイトルで講演されました。10 周年、おめでとうございます。

楯を手にされる
TAGD の Andy 先生



委員会だより

教育委員会

委員長 小笠原 正

教育委員会は、我が国における老年歯科医学教育の質向上と標準化、ならびに情報化推進を目標に活動しています。

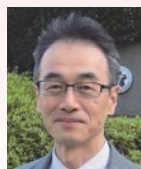
最近の活動としては、歯学部と歯科衛生士における「老年歯科医学教育基準」を策定してきました。老年歯科医学の教育指針となるものです。また診療参加型臨床実習マニュアルとして、①「移乗介助」、②「嚥下内視鏡検査」、③「摂食嚥下障害のスクリーニング検査」を作成し、公開しました。これらは、歯学部や歯科衛生士養成機関の学生だけでなく、地域の勉強会や自院の勉強会でも役立たせることができるものです。指導者のプレゼンテーション

ファイル、受講者資料、確認テスト用のチェックリストがセットになっています。学会事務局へ問い合わせのうえファイルを手に入れることができ、必要に応じて修正可能です。

2019年の年末にCOVID-19が報告され、2020年1月31日（日本時間）には世界保健機関（WHO）が“国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態”に該当すると発表し、各大学はかつてない対応に迫られ、講義や臨床実習を中止したり、教育現場は困難を強いられました。教育委員会では、各大学の取り組みが参考になると考え、講義・試験や臨床実習について緊急アンケートを行い、公開しました。老年歯科医学教育の検討を通して、我が国の歯科医療の発展に貢献すべく、活動してゆく所存です。



小笠原 正

會田英紀
(北海道医療大学)有友たかね
(日本歯科大学口腔
リハビリテーション
多摩クリニック)伊藤加代子
(新潟大学)大渡凡人
(九州歯科大学)菅野亜紀
(東京歯科大学短期大学)村田比呂司
(長崎大学大学院)中根綾子
(東京医科歯科大学)

| 支 | 部 | だ | よ | り |

岡山支部共催
「病院歯科介護研究会 第23回学術講演会」
開催報告

岡山支部 伊東昌洋

2021年11月7日(日), Web開催にて病院歯科介護研究会 第23回学術講演会を行いました。参加者数は110名で、足利赤十字病院 名誉院長の小松本 悟先生をはじめとする6名の講師の先生方から、大会のテーマであった、「多職種ではじめる脳卒中地域連携—脳卒中・循環器病対策基本法2019施行を受けて口腔管理はどうあるべきか—」に基づき、貴重なご講演をいただきました。さまざまな職種からの参加があり、活発な意見交換がなされ、たいへん有意義な学術講演会となりました。



講師の小松本先生

講演会のフライヤー



新規 専門医認定者の声

市村和大先生
茨城県（市村歯科医院）

以前の専門医申請資格は、開業医にとって非常にハードルが高いものでした。しかし、現在申請資格が改定され開業医の私でも申請可能となり、今回専門医を挑戦することになりました。

専門医を取得するにあたり、計 50 問のマークシートによる試験があります。私は、出題図書の一つである『老年歯科医学』を購入し、要点をノートにまとめて試験に臨みました（学生以来、久しぶりに赤い下敷きと緑のペンも使いました笑）。ノートにまとめていると、今まで曖昧だった医科の知識などがしっかりと繋がっていくのを実感しました。専門医取得の過程は必ず自身のプラスになるので、もし迷われている先生がおりましたら、ぜひ挑戦することをお勧めします。



八田昂大先生
（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座
有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

私は、大阪大学歯学部を卒業後から現在まで、大阪大学歯学部附属病院の咀嚼補綴科に所属しています。日頃から高齢者歯科に携わっていたことに加えて、研究分野も高齢者の口腔と全身の健康とのかかわりについて調査していたこともあり、この分野の自身のスキル・知識の向上を目指したいと考えたことが、専門医を志すきっかけとなりました。試験問題は、基礎的な内容から、臨床的な内容まで多岐にわたるため、試験対策には苦労しましたが、なんとかクリアすることができました。

今後は、専門医として、さらなる研鑽を積みながら、日々の診療に取り組んでいきたいと思っています。



東浦正也先生
奈良県（ひがしうら歯科）

2010 年、大阪歯科大学を卒業後、奈良県立医科大学口腔外科へ入局し、関連病院にて本学会指導医の下で研鑽しておりました。また他の関連施設での「介護施設スタッフへの口腔ケアに対するアンケート」を 5 年にわたり調査し、学会にて報告いたしました。早くより良き指導医に出会い、学会に参加することができたことに感謝しております。専門医試験を受ける過程で、さまざまな知識や技能を整理することができ、自己成長につながりました。

高齢者歯科への取り組みとしては主に自院（奈良市）での診療や、訪問診療を行っております。自院の患者さんは 65 歳以上が 66% と高齢化が進んでおります。独自のパンフレットを作成し、65 歳以上の患者さんへは口腔機能低下症のスクリーニングを行っております。今後データを集計し学会へ報告したく考えております。

今後も地域医療に貢献しながら、学会活動にも精を注いでいきたいと存じます。



山口浩平先生
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
摂食嚥下リハビリテーション学分野）

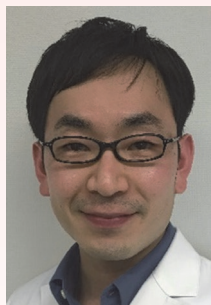
高齢者歯科医療を専門にした理由ですが、超高齢社会なのだから最も必要とされる分野の一つだろうと考えたからです。

実に面白味のない理由ですが、今では、その考えは正しかったと確信しています。

専門は歯科訪問診療における摂食嚥下リハビリテーションで、症例報告書も在宅、施設での摂食嚥下リハビリテーションを中心に、それにかかわる口腔機能、栄養評価、生活指導まで含めて考察しました。

筆記試験は、介護制度から臨床的な問題まで多岐にわたり、改めて老年歯科専門医に求められる知識の幅広さを痛感しました。

今後、老年歯科専門医として日々の臨床、研究、教育に加え、歯科や医療にとどまらないさまざまな分野の専門家と連携し、大きな社会課題の解決にも取り組みたいと思っています。



多職種連携委員会主催 オンラインLive研修会開催報告

多職種連携委員会 委員・幹事 若杉葉子

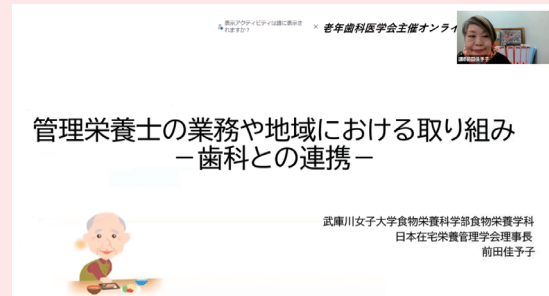
多職種連携委員会主催オンラインLive研修会を10月29日20時から開催しました。講師に武庫川女子大学食物栄養学部食物栄養学科教授の前田佳予子先生をお招きし、「管理栄養士の業務や地域における取り組み—歯科との連携—」という演題でご講演いただきました。参加者は226名と盛況のうちに終了いたしました。

内容は、社協と協力して実施している高齢者への取り組み(閉じこもり防止のための昼食会や咬合力アップ体操)、研究内容の紹介(握力が低下した人は咀嚼能力が低い)、栄養ケアステーションの変化(機能強化型認定栄養ケアステーションの設立、管理栄養士が栄養指導を実施できる場所の増加)など、多岐にわたる活動について教えていただきました。

歯科との連携では栄養ケアステーションを利用してほ

しいこと、依頼時は医科との連携についての情報が必要であることも教えていただきました。

前田先生、ご参加いただいた皆様どうもありがとうございました。



研修会の一場面

支部長会開催報告

支部・地域保健医療福祉委員会 委員長 平野浩彦

2021年11月9日(火)、「地域包括ケアを再考する：COVID-19感染拡大経験を通して」をテーマに、昨年度に引き続きオンラインで支部長会を開催しました。この支部長会に先立ち、9月から10月にかけて各都道府県の支部を6ブロックに分けた地域版支部長会をオンラインにて開催し、COVID-19による一般診療、在宅・施設への訪問診療・学生教育の現状に関する情報交換に加え、保健事業と介護予防の一体的実施も含めた地域包括ケアにおける歯科の取り組みや多職種連携教育などについて活発な話し合いがなされました。各ブロックの代表からの報告と討論では、地域ごとの高齢者歯科の課題についての情報共有・意見交換が行われました。来年度は、学術大会の開催地であ

る新潟で支部長が会することを願って閉会となりました。



全国の支部長にオンラインでご参加いただきました

オンライン歯科衛生士セミナー開催報告

歯科衛生士関連委員会 委員長 石黒幸枝

2021年12月12日(日)、9回目となる歯科衛生士関連委員会主催セミナーをオンラインにて開催し、野原幹司先生(大阪大学)より「歯科衛生士が行うポリファーマシー対策」をテーマにご講演をいただきました。セミナーでは、薬剤性嚥下障害について口腔機能に加えて薬剤に着目する重要性、「ヒト」からみた服薬指導として、服薬困難症例に対する評価と対応方法について、嚥下内視鏡の動画なども交えてわかりやすく解説をいただきました。当日は、歯科衛生士のみならず歯科医師の参加も多く、計274名の参加がありました。次回は、2022年2月27日(日)に「歯科衛生士が行う高齢者への食事指導のことはじめ」をテーマに開

催する予定です。



講師の野原先生と歯科衛生士関連委員会のメンバー

学会だより

本年もよろしくお願いいたします！



理事会／2021.12.10開催
 本会 理事・監事・幹事・名誉会員 一同

オンライン歯科衛生士交流会のご案内

日本老年歯科医学会
 正会員 歯科衛生士限定 参加費無料！！

日 時：2022年2月27日（日）
 10時10分～11時30分
 （第10回オンライン歯科衛生士セミナー終了後）
 ※事前申込制（先着順、定員30名になり次第終了）



第11回高齢者医療臨床研修会のご案内

日 時：2022年3月18日（金）20:00～21:00
 Web開催（zoom）
 内 容：有病高齢者の緊急時の対応
 講 師：前田 茂教授（東京医科歯科大学大学院歯科麻酔・口腔顔面痛制御学分野）
 ※事前申込制。本会会員のみ聴講可能です。

支部セミナーのご案内

鹿児島支部後援セミナー 「第1回 栄養の基礎研修講座」

日 時：2022年2月2日～3月9日 期間中5回（水曜）
 19:30～21:00
 Web開催（zoom）
 主 催：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面補綴学分野

三重支部後援セミナー 「東海オーラルマネジメント研究会」

日 時：2022年2月20日（日）9:00～12:05（予定）
 Web開催（zoom）
 主 催：東海オーラルマネジメント研究会

編集後記

新年明けましておめでとうございます。令和4年初刊のニュースレターをお届けします。昨年、一昨年と学術大会はWeb開催でしたが、今年は2年ぶりに現地開催と同時にハイブリッド開催も視野に入れ、会員の皆様とお逢いできることを心待ちにしております。第33回学術大会の事前参加登録受付が2月17日（木）から開始予定となっております。新潟で学会公式キャラクターの「キキ」と「もも」もお待ちしております。
 （貴島真佐子）

発行人 水口俊介
 編集 （一社）日本老年歯科医学会広報委員会
 事務局 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9
 駒込TSビル （一財）口腔保健協会内
 E-mail gakkai30@kokuhoken.or.jp

